

しなバスのダイヤ改正(案)について

第4回品川区地域公共交通会議資料 (令和4年8月9日)

(目次)

1. しなバスのダイヤ改正(案)について
 - (1) 改正内容
 - (2) 新旧比較
2. 今後のスケジュール(案)について
3. 事業を進めるにあたって(参考)

1. しなバスのダイヤ改正(案)について

(1) 改正内容

当初計画では、車両を4台（予備車両1台含む）、運行間隔を20分で、試行運行を開始する予定であったが、関係機関等との協議に時間を要し、車両発注が間に合わず、運行事業者（東急バス株式会社）から車両3台を借用し、30分間隔で試行運行を開始した。今般、4台発注している車両の納車が近日中に行われることから、当初計画のとおり、運行間隔を20分とするため、次のとおりダイヤ改正を行うこととする。

- **3台運行（予備車両1台含む）から4台運行（同1台含む）へと変更。**
- **10月1日（土）より、しなバスの運行間隔を現行の30分間隔から20分間隔に変更。**
- 1日あたり**56便（往路28便、復路28便）から84便（往路42便、復路42便）**に増便。
- 運行日は変更なし。（平日・土曜・休日併用ダイヤ）



(2) 新旧比較

現行ダイヤ 30分間隔

西大井駅発

時	平日・土曜・休日	
	分	便数
7	00 30	2
8	00 30	2
9	00 30	2
10	00 30	2
11	00 30	2
12	00 30	2
13	00 30	2
14	00 30	2
15	00 30	2
16	00 30	2
17	00 30	2
18	00 30	2
19	00 30	2
20	00 30	2
21		
合計		28

大森駅北口発

時	平日・土曜・休日	
	分	便数
7	30	1
8	00 30	2
9	00 30	2
10	00 30	2
11	00 30	2
12	00 30	2
13	00 30	2
14	00 30	2
15	00 30	2
16	00 30	2
17	00 30	2
18	00 30	2
19	00 30	2
20	00 30	2
21	00	1
合計		28

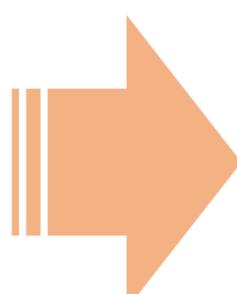
新ダイヤ 20分間隔

西大井駅発

時	平日・土曜・休日	
	分	便数
7	00 20 40	3
8	00 20 40	3
9	00 20 40	3
10	00 20 40	3
11	00 20 40	3
12	00 20 40	3
13	00 20 40	3
14	00 20 40	3
15	00 20 40	3
16	00 20 40	3
17	00 20 40	3
18	00 20 40	3
19	00 20 40	3
20	00 20 40	3
21		
合計		42

大森駅北口発

時	平日・土曜・休日	
	分	便数
7	30 50	3
8	10 30 50	3
9	10 30 50	3
10	10 30 50	3
11	10 30 50	3
12	10 30 50	3
13	10 30 50	3
14	10 30 50	3
15	10 30 50	3
16	10 30 50	3
17	10 30 50	3
18	10 30 50	3
19	10 30 50	3
20	10 30 50	3
21	10	
合計		42



2. 今後のスケジュール(案)について

8月下旬	新車両（4台）納車
8月末	運行計画変更の届出
9月中旬	バス停への掲出、車両ラッピング、ホームページへの掲載、広報紙掲載
<u>10月1日（土）</u>	<u>新ダイヤでの運行開始</u>
12月	アンケート調査の実施
令和5年3月	（仮称）利用者連絡会の設置

※資料ではダイヤ改正日を10月1日としていますが、8月2日公表された日野自動車株式会社の不正問題による出荷停止を受け、車両調達時期の目処が立たなくなったため、新ダイヤでの運行開始日については、変更となる場合があります。
（8月9日追記）

3. 事業を進めるにあたって(参考)

- 令和4年10月から令和5年3月の運行経費（見込み）は、約38,880千円
- 本格導入に必要な乗客数の目安は、1日あたり535人（片道1便あたり6.37人）

※乗客全員が運賃220円を支払った場合の試算

① 運行経費の試算

■ 運行経費：	約38,880千円	（運行事業者による試算）
	（内訳）	
	人件費	約32,006千円
	燃料費	約1,870千円
	車両維持・修繕費	約1,200千円
	諸経費	約3,803千円

② 本格導入に必要な乗客数の目安

■ 収支率50%以上となるために必要な収入：

運行経費約38,880千円 × 50% = 19,440千円

■ 本格導入に必要な乗客数の目安：

運賃220円を支払って乗車する人が 1日あたり535人（片道1便あたり6.37人）

※535人 × 200円(税抜) × 182日 = 19,474千円

※535人 ÷ (往路42便+復路42便) = 6.37人

③ 利用促進に向けて

- PR活動の実施（車内広告、沿線地域等へのチラシ配布）
- アンケート調査によるニーズの把握（令和4年度内に実施予定）
- 沿線住民や利用者等からなる「(仮称)利用者連絡会」を設置
- 運行計画の検証・改善（令和4年度内に検証予定）

■ 試行運行期間と本格導入の判断基準

- 試行運行期間：4年間（令和4年度～令和7年度）
※3年目の運行実績に基づき、本格導入
or見直し(廃止含む)を判断
- 判断基準：収支率50%以上